

取扱説明書

光学式タッチパネル 業務用

品番 TY-TP42P6-S (42V型用)

TY-TP50P6-S (50V型用)



このたびは、パナソニック光学式タッチパネルをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

特に「安全上のご注意」(4～5ページ)は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。

お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要な時にお読みください。

保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

取扱説明書はTY-TP42P6-SとTY-TP50P6-S共用です。

製造番号は、安全確保上重要なものです。

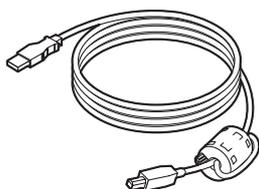
お買い上げの際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

上手に使うって上手に節電

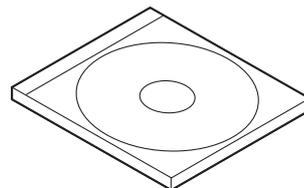
付属品

取り付け、接続の前にまず付属品を確かめてください。
()内は個数です。

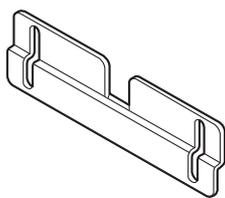
- USBケーブル(1)
(2 m)



- CD-ROM(1)
USBドライバーソフト
タッチパネル設定プログラム



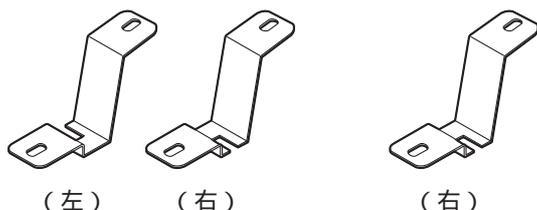
- 取付金具 A
TY-TP42P6-S:(4)
TY-TP50P6-S:(5)



- 取付ねじ A
TY-TP42P6-S:(8)
TY-TP50P6-S:(10)



- 取付金具 B
TY-TP42P6-S:(各1) TY-TP50P6-S:(1)



- 取付ねじ B
TY-TP42P6-S:(4)
TY-TP50P6-S:(2)



- 導電テープ(2)
TY-TP42P6-Sのみ



オプション(別売品)の紹介(2003年10月現在)

タッチペン(品番:TY-TPEN6)
お求めの販売店にご相談ください。

Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
(Windowsの正式名称は、Microsoft® Windows® Operating Systemです)
その他、本書に記載されている社名および商品名は、各社の商標、登録商標および商品です。

もくじ

安全上のご注意	4
お手入れ / 上手な使いかた	6
各部のはたらき	7

取り付けからインストール、設定までの流れ	8
タッチパネルの取り付け	9
接続とソフトのインストールについて	12
USB ドライバーのインストール	13
動作環境	13
インストール	13
Windows 98SE の場合	13
Windows Me の場合	15
Windows 2000 の場合	16
Windows XP の場合	18
USB ドライバーのインストール後の確認	20
Windows 98SE / Windows Me の場合	20
Windows 2000 / Windows XP の場合	21
タッチパネル設定プログラムのインストール	22
機能	22
動作環境	22
インストール	23

タッチパネル設定プログラム	25
基本設定	26
キャリブレーション	27
ユーザー設定	28
カーソル位置 微調整	30

ソフトのアンインストール	31
タッチパネル設定プログラム	31
USB ドライバーソフト	31
修理を依頼される前に	32
仕様	33
外形寸法図	34
保証とアフターサービス	35

ご確認
ください

使う
前の
準備

使
いか
た

必要
な
と
き

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、物的損害を未然に防止するため、必ずお守りいただきたいことを、次のように説明しています。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」です。
 注意	この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です)

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただきたい「指示」内容です。

警告

故障や異常のまま使用しないでください



禁止

煙が出る、変なにおいがするなどの異常な状態で使用すると発火などの原因となります。

直ちに使用を中止してお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから、おやめください。

水をかけたり、ぬらしたりしないでください



水ぬれ禁止

火災・感電の原因となります。

本機の分解、改造はしないでください



分解禁止

火災・感電・故障の原因となります。

本機の赤外線透過フィルターのエッジ部分にふれないでください



禁止

赤外線透過フィルターのエッジ部分は鋭利なため、ふれるとけがをすることがあります。

警告

異物を入れないでください



禁止

内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電・故障の原因となります。

特にお子様にはご注意ください。

近くに水などの入った容器を置かないでください



水ぬれ禁止

水がこぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。

(花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器)

注意

湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所に置かないでください



禁止

火災・感電の原因となることがあります。

移動させるときは接続線はずしてください



接続したまま移動させると、接続線が傷つき、故障の原因となることがあります。

本機内部の部品にふれないでください



禁止

故障の原因となることがあります。

お手入れ / 上手な使いかた

設置されるとき

タッチパネルの設置については下記の事項を必ずお守りください。

直射日光のあたる所や強力な光源に近い所

本機は赤外線を使った光学式タッチパネルですので影響を受け誤動作の原因となります。

ほこりや湿気の多い所

衝撃や振動の加わる所

薬品や蒸気が発散している所や薬品に触れる所

電氣的ノイズ発生源（発電機、エアコンなど）に近い所

使用するとき

パソコンの電源を入れてから OS が立ち上がるまで画面上の赤外線透過部に触れないでください。

素子不良として検出され、正常に動作しなくなります。その場合はパソコンを再起動してください。

また、USB ケーブルの抜き差しの場合も同様に、赤外線透過部に触れないでください。

赤外線を使用した他の機器をご使用の場合は、誤動作しないよう離れた所でご使用ください。

移動するとき

移動のときは衝撃を与えないでください。故障の原因になることがあります。

移動のときはプラズマディスプレイ本体のキャリングハンドルを持って行ってください。

本機を持って移動させると故障の原因となることがあります。

お手入れについて

必ず USB ケーブルを外してから行ってください。

本機表面の汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。

ひどい汚れは、水でうすめた中性洗剤にひたした布を、かたく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。水滴が内部に入ると、故障の原因になる場合があります。

プラズマディスプレイの画面も同様です。また画面を強くこすらないでください。

赤外光透過部の汚れは柔らかい布でふき取ってください。

1 日 1 回は、赤外光透過部の汚れを柔らかい布でふき取ってください。

赤外光透過部の汚れが原因で不具合が発生した場合は、軽くふき取るだけで機能は回復します。

ひどい汚れは、水でうすめた中性洗剤にひたした布を、かたく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

スプレー洗剤など直接かけない。

水滴が内部に入ると、故障の原因になる場合があります。

殺虫剤、ベンジン、シンナーなど揮発性のものをかけない。

パネルが変質したり塗装がはがれます。

ゴムやビニール製品などを長時間接触させない。

キャビネットが変質する原因となります。

化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

1 年に一度は内部の掃除を販売店にご依頼ください。

内部にほこりがたまると、タッチ検出のための赤外線ビームの光量が低下して、動作不良になることがあります。1 年に一度は内部の掃除を販売店にご依頼ください。

各部のはたらき

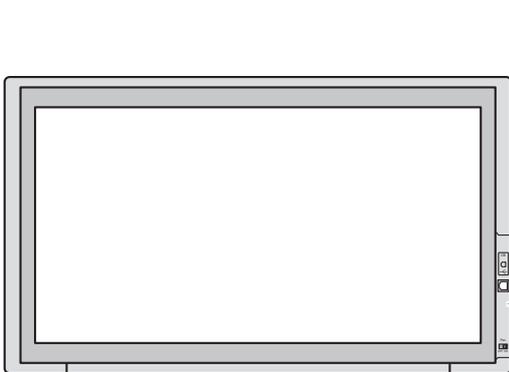
タッチパネル本体（前面）



プラズマディスプレイ電源ボタン
電源を「入」、「切」する

タッチペン用受光部
タッチペン(オプション)からの信号を受信するためのものです。
この部分が隠れると、タッチペンからの信号が正しく受信できなくなります。
また突起しているのでぶつけないように注意してください。

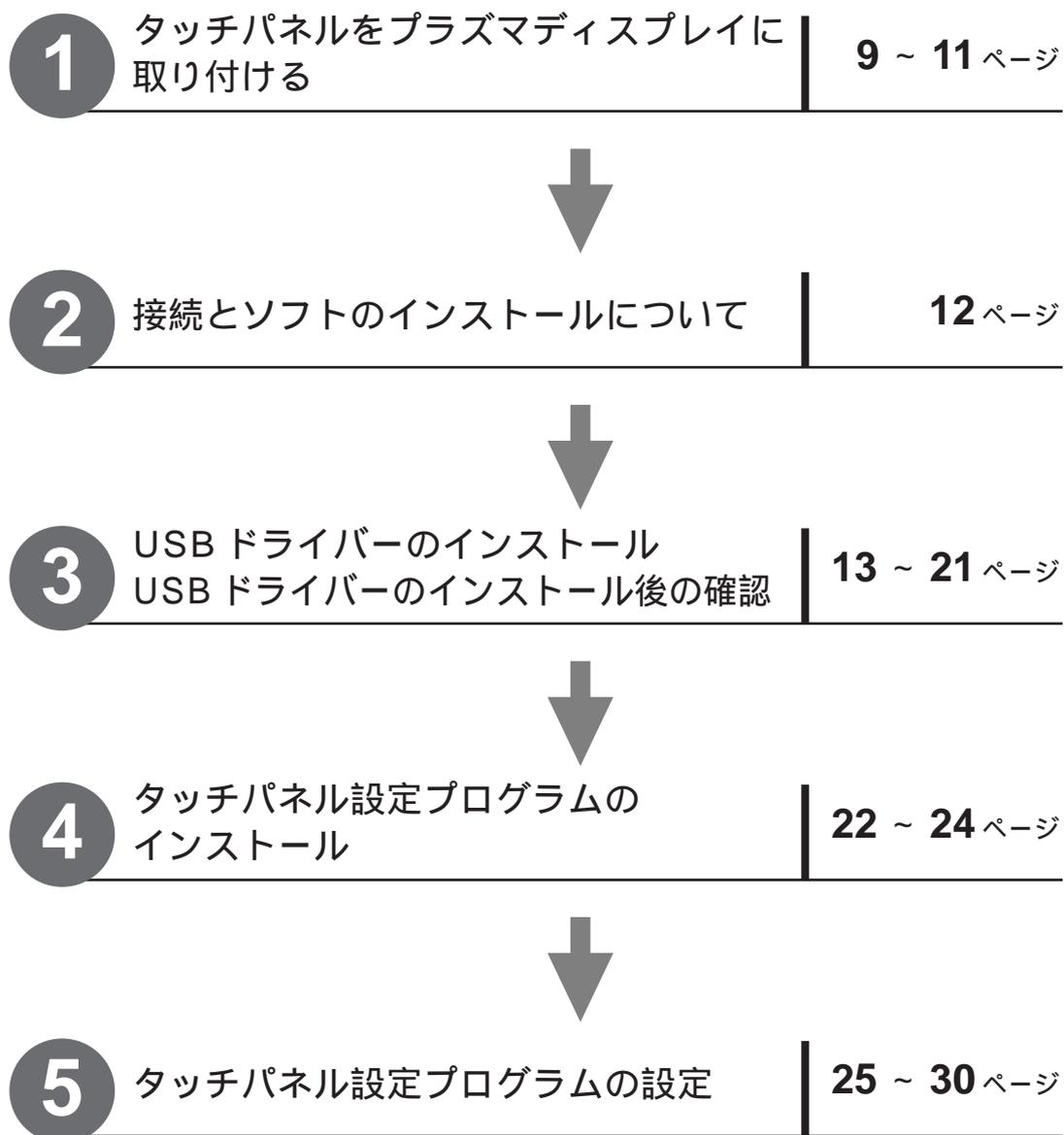
タッチパネル本体（後面）



USB 端子

Pen (切り換えスイッチ)
ON : タッチペン入力モード
 (オプションの
 タッチペン使用時)
OFF : 手書き入力モード
 (通常のタッチパネル)

取り付けからインストール、設定までの流れ

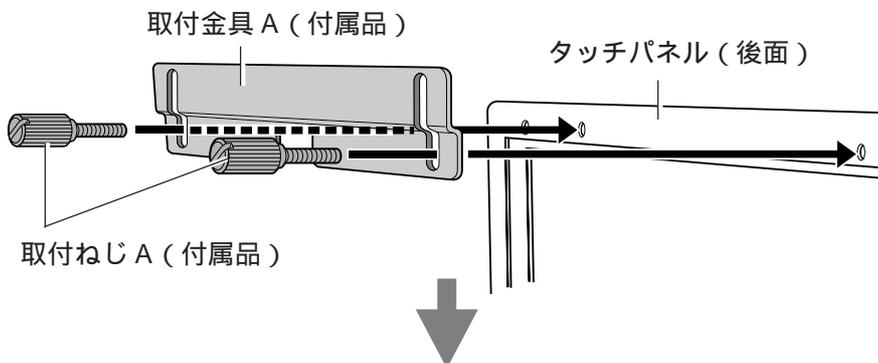


タッチパネルの取り付け

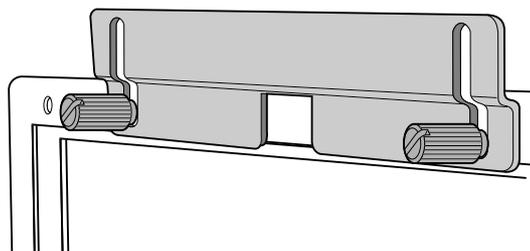
1

取付金具 A をタッチパネルに取り付ける

- 取付金具 A のクッションが付いている面をタッチパネル側に向ける。
- 取付金具 A を上にした状態にして、取付ねじ A でタッチパネル上部の左右 2 ヲ所に仮止めする。



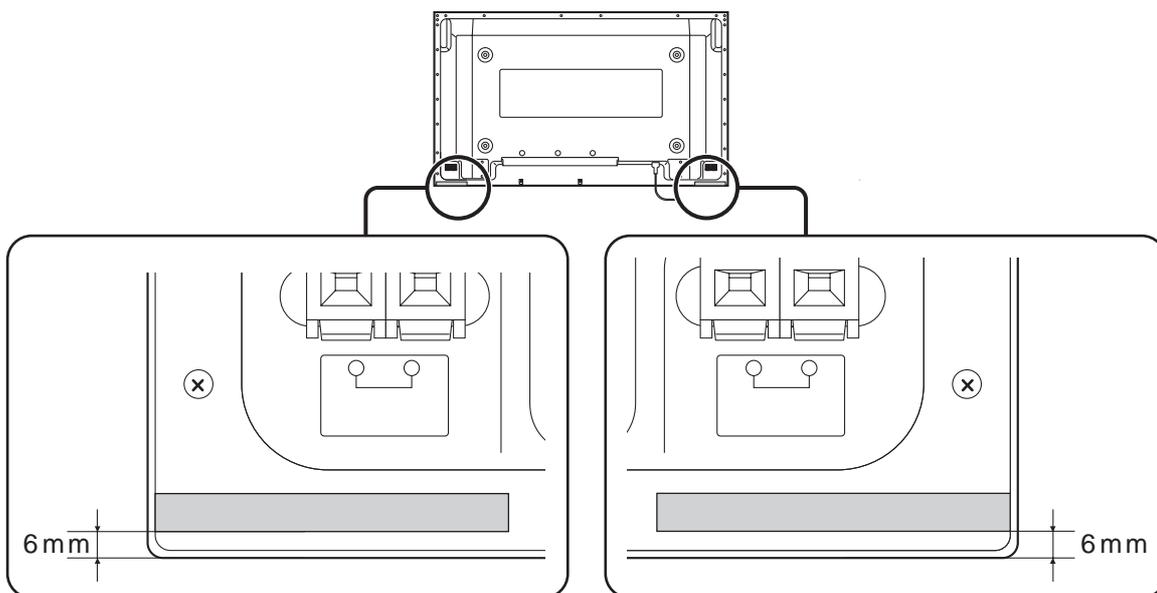
タッチパネルをディスプレイ本体の前面に取り付けるとき、
取付金具 A が当たらないように金具を上に取り付ける。



2

導電テープをディスプレイ本体の後面に貼り付ける (TY-TP42P6-S のみ)

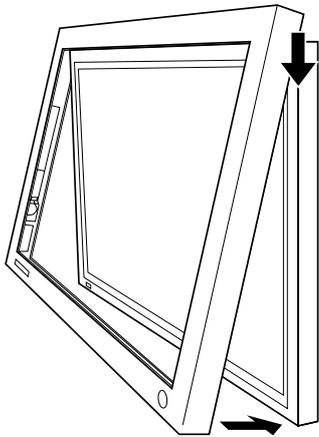
導電テープのはくり紙をはがして、ディスプレイ本体後面の左右下へ貼り付ける。



導電テープ貼付位置の目安

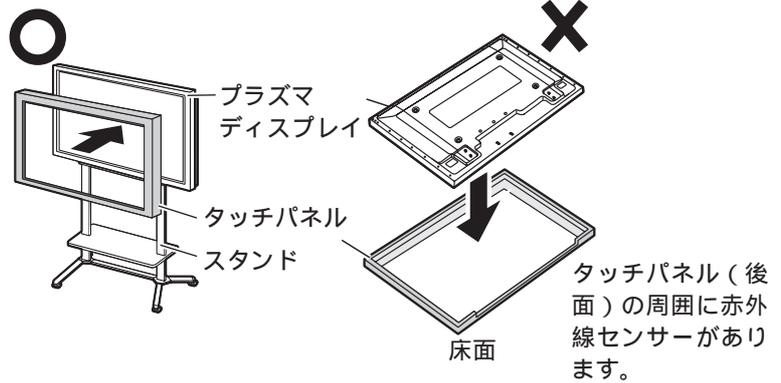
タッチパネルの取り付け

3 タッチパネルをディスプレイ本体の前面に取り付ける



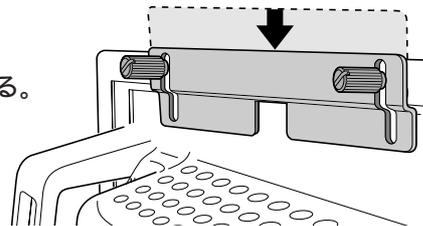
取り付け注意

タッチパネルの赤外線センサーが破損しますのでタッチパネルを下に置いてプラズマディスプレイを上から絶対に取り付けしないでください。
 このような取り付けかたにより故障した場合は有償修理扱いとなりますので注意してください。



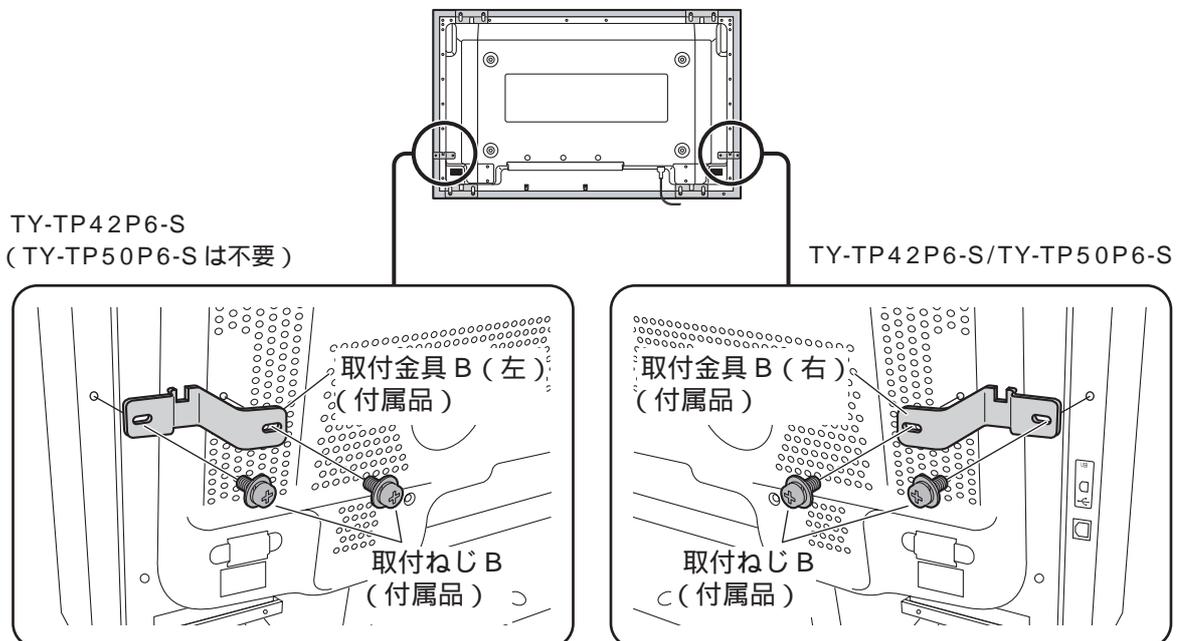
4 仮止めした取付金具 A を下げる

仮止めした取付ねじ A をゆるめ、取付金具 A を下げる。
 (パネル上部の左右 2カ所)



5 取付金具 B を仮止めする

タッチパネルとプラズマディスプレイ後面にある左右のスピーカー取付ねじ穴に取付金具 B (左) (右) を取付ねじ B で仮止めする。

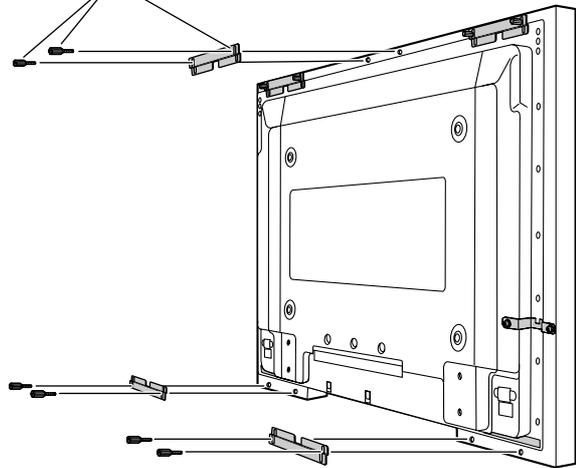


6

取付金具 A を取り付ける

残りの取付金具 A をタッチパネルに取り付ける。
 TY-TP42P6-S : 取付金具 A は合計 4 カ所
 TY-TP50P6-S : 取付金具 A は合計 5 カ所

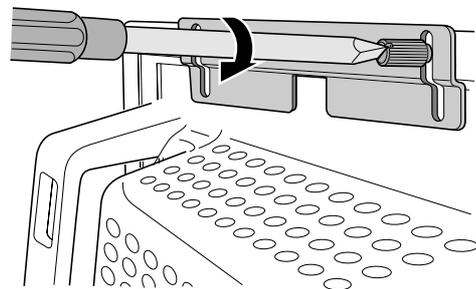
(TY-TP50P6-S のみ)



7

タッチパネルを固定する

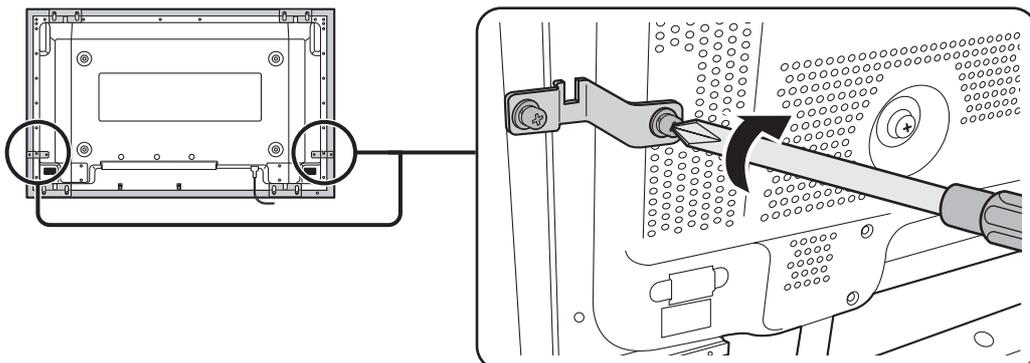
取付ねじ A を手で回して締めた後、マイナスドライバーを使ってさらに締める。
 タッチパネルとディスプレイ前面に大きなすきまが生じないように固定する。
 取付金具 A を締めすぎてゆがみが生じないように注意してください。



8

取付金具 B を固定する

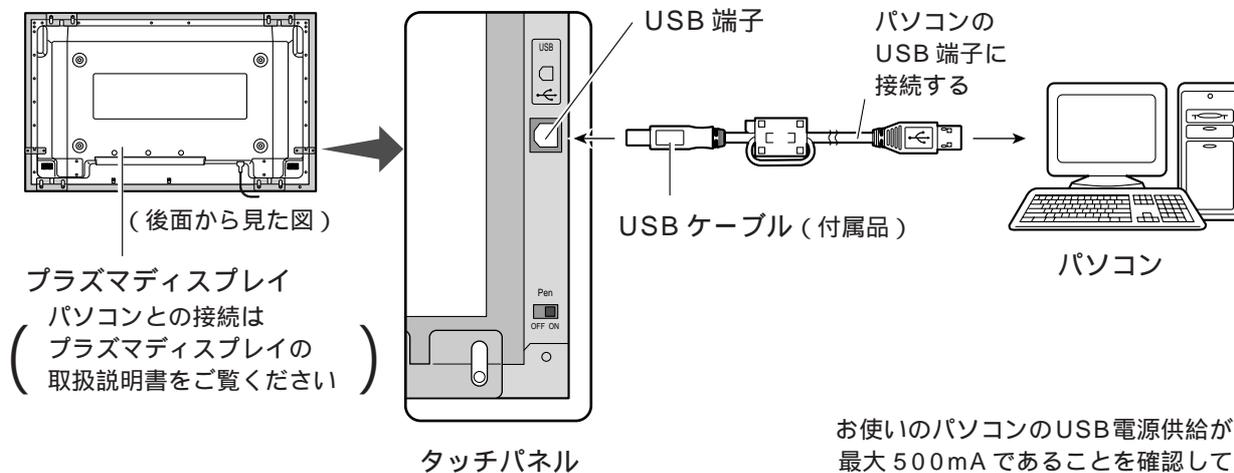
仮止めした取付ねじ B をプラスドライバーを使って締め付けて
 取付金具 B (左) (右) を固定する。(TY-TP50P6-S は取付金具 B (右) のみ)



接続とソフトのインストールについて

接続

タッチパネルとパソコンを以下のように接続する。



お願い

タッチパネルとパソコン間を USB ケーブルで接続するときはパソコンの OS が立ち上がった後に行ってください。

USB ケーブルを接続する際、画面上の赤外線透過部を指などで遮っていた場合、素子不良として検出され、そのまま使用されるとタッチの反応が鈍くなる場合があります。その場合は、USB ケーブルを一度外し、再度接続してください。この時、パソコンは起動したままで行ってください。

USB ハブを使用して接続する場合は、USB ハブに電源を供給する必要があります。

詳しくは、お使いの USB ハブの説明書をよくお読みください。

ソフトのインストールについて

- 1 プラズマディスプレイ、パソコンの順に電源を入れる。
- 2 プラズマディスプレイの入力をパソコンに切り換える。
- 3 パソコンの OS が立ち上がったら、付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットし、タッチパネルとパソコンを USB ケーブルで接続する。
- 4 OS のインストーラの指示に従い、USB ドライバソフトをインストールする。
(13 ~ 19 ページ)
- 5 USB ドライバソフトのインストール後の確認をする。
(20 ~ 21 ページ)
- 6 タッチパネル設定プログラムをインストールする。
(22 ~ 24 ページ)

USB ドライバーのインストール

動作環境

パソコン	PC/AT 互換機 (DOS/V 機) USB ポート、CD-ROM ドライブ搭載機種	
対応 OS (日本語版)	Windows 98 Second Edition	••••• (👉 下記)
	Windows Millennium Edition	••••• (👉 15 ページ)
	Windows 2000	••••• (👉 16 ページ)
	Windows XP (Service Pack1 推奨)	••••• (👉 18 ページ)

インストール

インストールは、使用されている OS によって異なりますので、対応する OS のセットアップ手順に従ってください。

お願い

Windows 2000 および Windows XP では、Administrator (管理者) グループに所属したユーザー名でログオンして、インストールしてください。

Windows 98SE の場合



- 1 パソコンを起動する。
- 2 Windows 98SEが立ち上がったら、付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする。
- 3 タッチパネルとパソコンをUSBケーブルで接続する。
(👉 12 ページ)
- 4 USBケーブルを接続すると、「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されます。
[次へ] ボタンをクリックする。



- 5 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」を選び、[次へ] ボタンをクリックする。

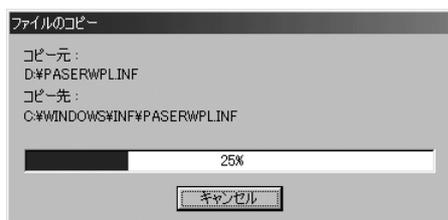
USB ドライバーのインストール



6 「CD - ROMドライブ」を選び、
[次へ]ボタンをクリックする。



7 CD - ROM よりドライバ
ファイルを検索し、準備ができ
たら左の画面が表示されます。
[次へ]ボタンをクリックする。



8 ドライバファイルがコピーさ
れます。



9 左の画面が表示されると、イン
ストール完了です。
[完了]ボタンをクリックする。

Windows Me の場合



- 1 パソコンを起動する。
- 2 Windows Me が立ち上がったら、付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットする。
- 3 タッチパネルとパソコンを USB ケーブルで接続する。
(12 ページ)
- 4 USB ケーブルを接続すると、「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されます。「適切なドライバを自動的に検索する(推奨)」を選び、「次へ」ボタンをクリックする。



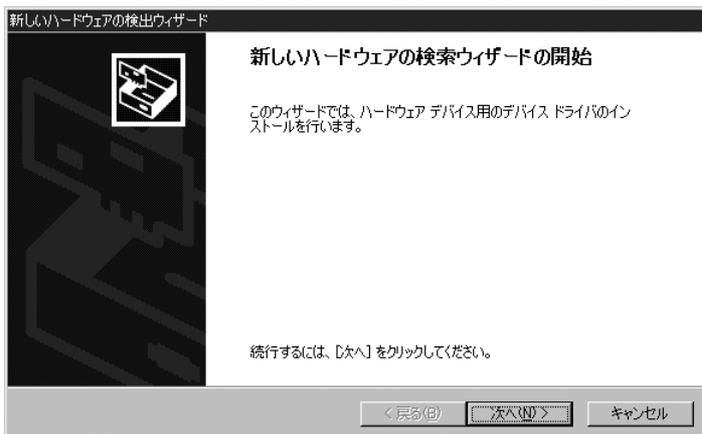
- 5 左の画面が表示されると、「完了」ボタンをクリックする。

USB ドライバーのインストール

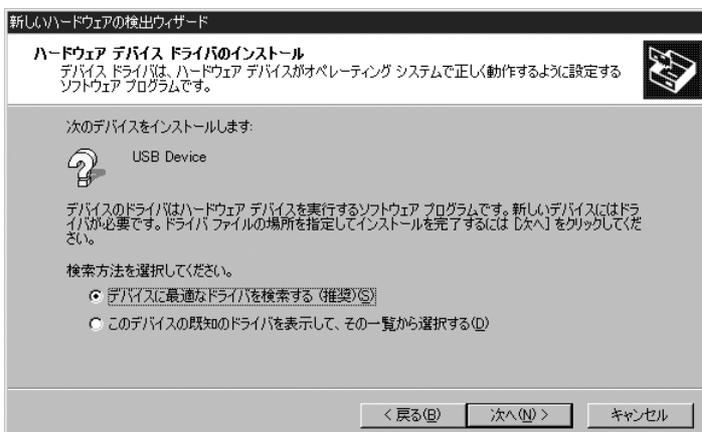
Windows 2000 の場合



- 1 パソコンを起動する。
- 2 Windows 2000が立ち上がったら、付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする。
- 3 タッチパネルとパソコンをUSBケーブルで接続する。
(12 ページ)
- 4 USBケーブルを接続すると、新しいハードウェアとして認識され左の画面が表示されます。

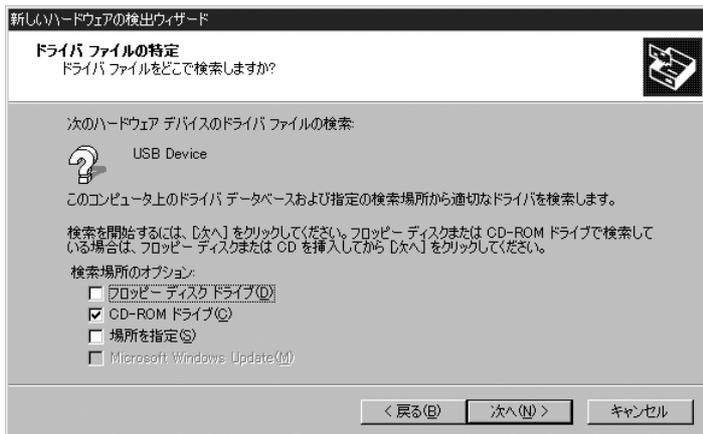


- 5 次に、「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」画面が表示されます。
[次へ]ボタンをクリックする。



- 6 「ハードウェア デバイス ドライバのインストール」画面が表示されます。
「デバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」を選び[次へ]ボタンをクリックする。

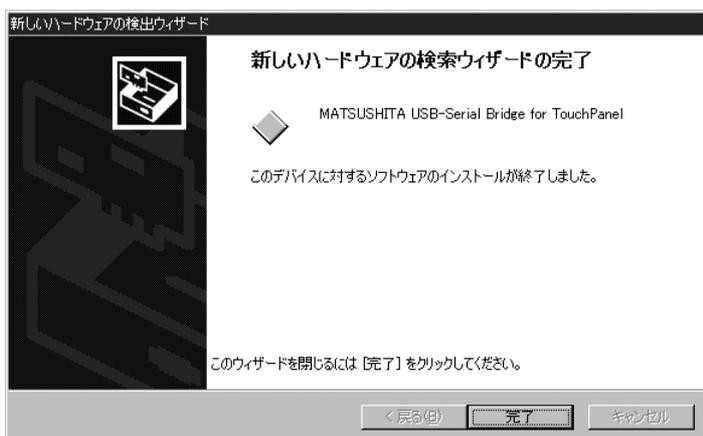
USB ドライバーのインストール



- 7 「ドライバ ファイルの特定」画面が表示されます。
「CD-ROM ドライブ」を選び、[次へ] ボタンをクリックする。



- 8 「ドライバ ファイルの検索」の終了画面が表示されます。
[次へ] ボタンをクリックする。



- 9 左の画面が表示されるとインストール完了です。
[完了] ボタンをクリックする。

使
う
前
の
準
備

USB ドライバーのインストール

Windows XP の場合

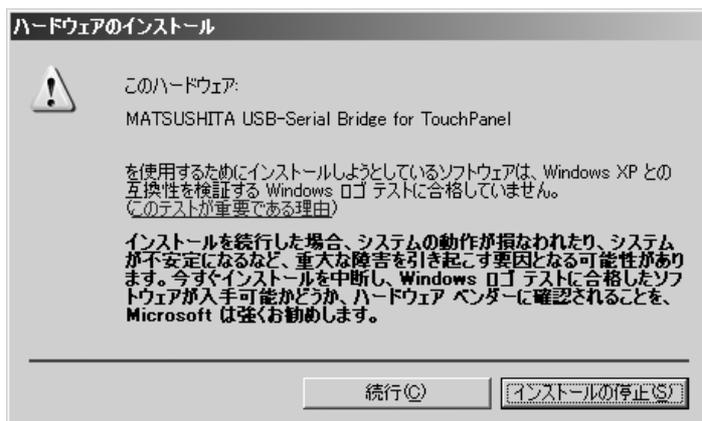


1 パソコンを起動する。

2 Windows XP が立ち上がった
ら、付属の CD-ROM を CD-
ROM ドライブにセットする。

3 タッチパネルとパソコンを
USB ケーブルで接続する。
(12 ページ)

4 USB ケーブルを接続すると、
「新しいハードウェアの検索
ウィザードの開始」画面が表
示されます。
[次へ] ボタンをクリックする。



5 左のような警告メッセージ画面
が表示されますが、そのまま
[続行] ボタンをクリックする。



6 ドライバーファイルがインス
トールされます。



- 7 左の画面が表示されるとインストール完了です。
「完了」ボタンをクリックする。

USB ドライバーのインストール後の確認

Windows 98SE / Windows Me の場合

デバイスマネージャーで「COM ポート番号」を確認します。



- 1 [スタート] [設定] [コントロールパネル] をクリックする。
- 2 コントロールパネルの[システム] をダブルクリックする。
- 3 システムのプロパティの「デバイス マネージャ」タブをクリックする。
- 4 「ポート (COM/LPT)」をダブルクリックする。
「USB-Serial for TouchPanel (COMx)」と表示されていることを確認する。
(COMx)が、タッチパネルの使用するCOMポート番号となります。
COMポート番号は、ご使用のパソコン環境によって、設定される番号が異なります。

「ユニバーサル シリアル バス コントローラ」を確認します。



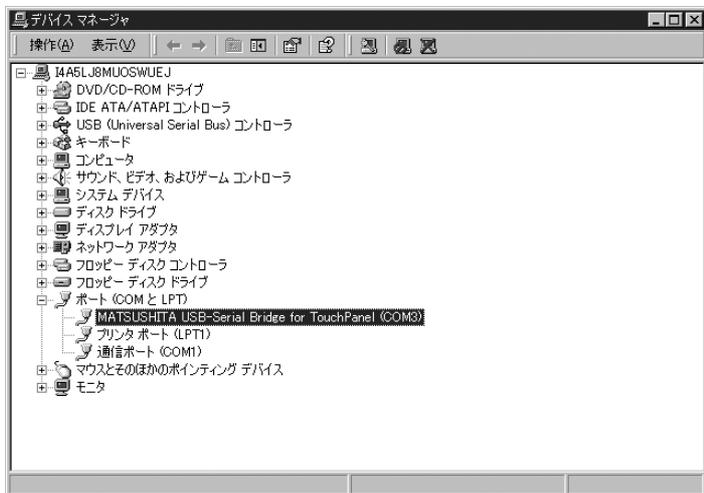
- 5 「ユニバーサル シリアル バス コントローラ」をダブルクリックする。
「MATSUSHITA USB-Serial Bridge for TouchPanel」と表示されていることを確認する。
- 6 [OK] ボタンをクリックする。

インストール後の USB ケーブルの接続について

USB ケーブルを抜いてから再度、差し込むまでの時間が短い場合、パソコンが認識できない場合がありますので、このときはパソコンを再起動してください。

Windows 2000 / Windows XP の場合

デバイスマネージャで「COMポート番号」を確認します。



1 [スタート] [設定] [コントロールパネル]をクリックする。

2 コントロールパネルの[システム]をダブルクリックする。

3 システムのプロパティの「ハードウェア」タブをクリックする。

4 [デバイス マネージャ]をクリックする。

5 「ポート (COMとLPT)」をダブルクリックする。

「MATSUSHITA USB-Serial Bridge for TouchPanel (COMx)」と表示されていることを確認する。

(COMx)が、タッチパネルの使用するCOMポート番号となります。

COMポート番号は、ご使用のパソコン環境によって、設定される番号が異なります。

使う前の準備

インストール後の USB ケーブルの接続について

ドライバーをインストールしたUSBポートと異ったポートにUSBケーブルを接続すると、新しいハードウェアとして認識され、「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されます。この場合は[キャンセル]をクリックしてからドライバーのインストールをしたUSBポートにUSBケーブルを接続し直してください。

USBケーブルを抜いてから再度、差し込むまでの時間が短い場合、パソコンが認識できない場合がありますので、このときはパソコンを再起動してください。

Windows XP のときは、USBケーブルを抜き差しすると、パソコンが認識できない場合がありますので、Windows XP Service Pack 1 をお使いになることを推奨します。

タッチパネル設定プログラムのインストール

機能

タッチパネル設定プログラムの機能は次の通りです。

タッチパネルの出力データを、マイクロソフト社製シリアルマウスと互換性のあるプロトコルに変換することにより、アプリケーションプログラムに対しマウスと同等のソフトウェアインターフェースを提供します。

これによって、既存のアプリケーションをタッチパネルで操作することやタッチパネル応用アプリケーションの開発をマウスベースで進めることが可能となります。

タッチパネル設定プログラムにより、タッチパネルの動作設定を変更できます。

動作環境

パソコン	PC/AT 互換機 (DOS/V 機) USB ポート、CD-ROM ドライブ搭載機種
対応 OS (日本語版)	Windows 98 Second Edition Windows Millennium Edition Windows 2000 Windows XP (Service Pack1 推奨)

PS/2 マウスのようなシリアルポートを使用しないポインティングデバイスとは、お互いに干渉することなく同時に使用できます。

タッチパネル設定プログラムのインストールに先立って、COM ポートのアドレスおよび割り込みが正しく設定され、COM ポートが正しく動作している必要があります。

ハイパーターミナルなど、COM ポートを使用するアプリケーションとの併用はできません。

動画ファイルなど、CPU 使用率の高いアプリケーションと併用するときは、動画がコマ落ちする、またはマウスポインタの追従が遅れるなどの障害がおこる場合があります。

タッチパネル設定プログラムのインストール

インストール

付属のCD-ROMにはタッチパネル設定プログラムの専用インストーラ(Windows 98SE / Windows Me用とWindows 2000 / Windows XP用)が入っています。お使いのOSに合ったセットアップファイル(setup.exe)を起動してください。

OS	CD-ROM (専用インストーラ)
Windows 98SE Windows Me	¥Japanease¥Win9x_me¥setup.exe
Windows 2000 Windows XP	¥Japanease¥Win2k_xp¥setup.exe

お願い

Windows 2000 およびWindows XPでは、Administrator(管理者)グループに所属したユーザー名でログオンして、インストールしてください。

以前のバージョンのタッチパネル設定プログラムがインストールされている場合は、初めに以前のバージョンのソフトをアンインストールしてから新しいバージョンのソフトをインストールしてください。

( 31 ページ)



1 付属のCD-ROMをセットする。
(CD-ROMをセットしたドライブ名をDドライブと仮定します)

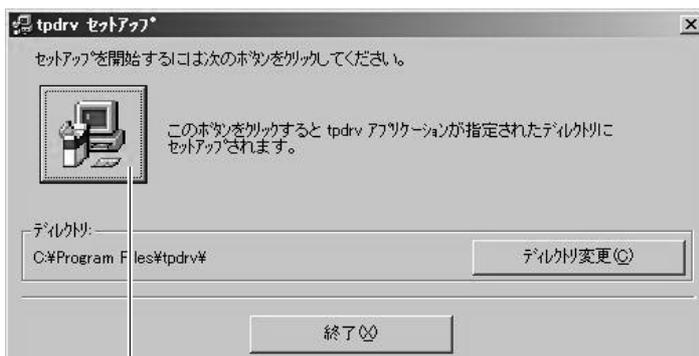
1 [スタート] [ファイル名を指定して実行]を選択する。

2 お使いのOSに合わせて[名前]欄に
“D:¥Japanease¥Win9x_me¥setup.exe”
または
“D:¥Japanease¥Win2k_xp¥setup.exe”
と入力する。

3 [OK]ボタンをクリックする。
セットアッププログラムが起動します。

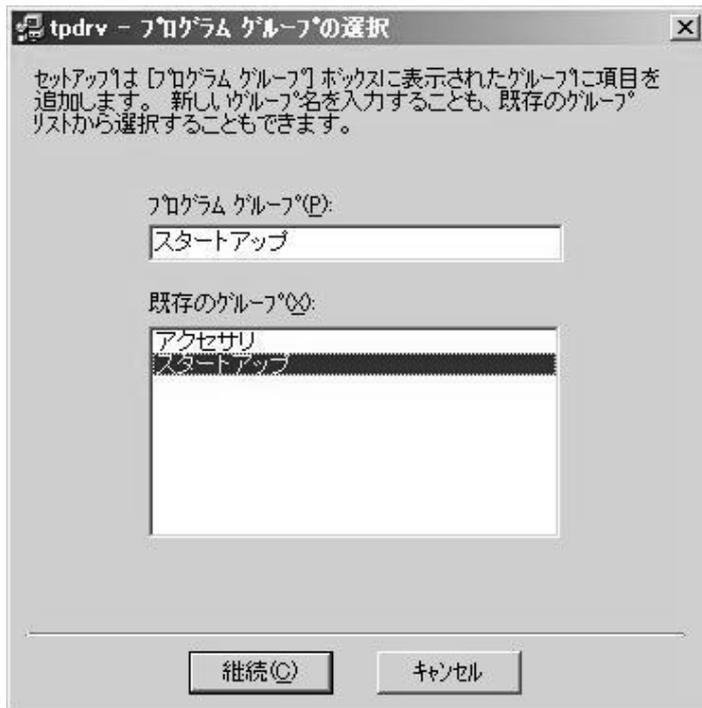
2 [OK]ボタンをクリックする。

3 インストール先のディレクトリ
に変更がなければ「セットアップ」
ボタンをクリックする。



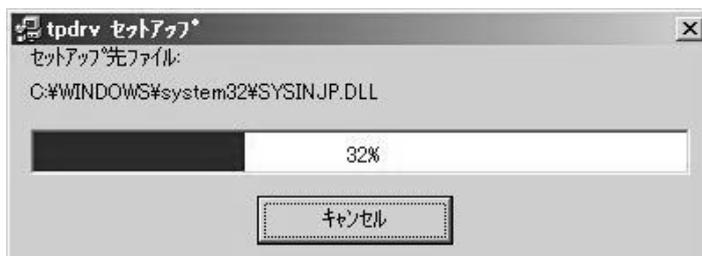
「セットアップ」ボタン

タッチパネル設定プログラムのインストール



4

[継続]ボタンをクリックする。初期設定はスタートアッププログラムとして登録されます。これにより次回からパソコンを起動するとドライバーソフトが自動で起動してタッチパネルを使用することができます。



5

必要なファイルがインストールされます。

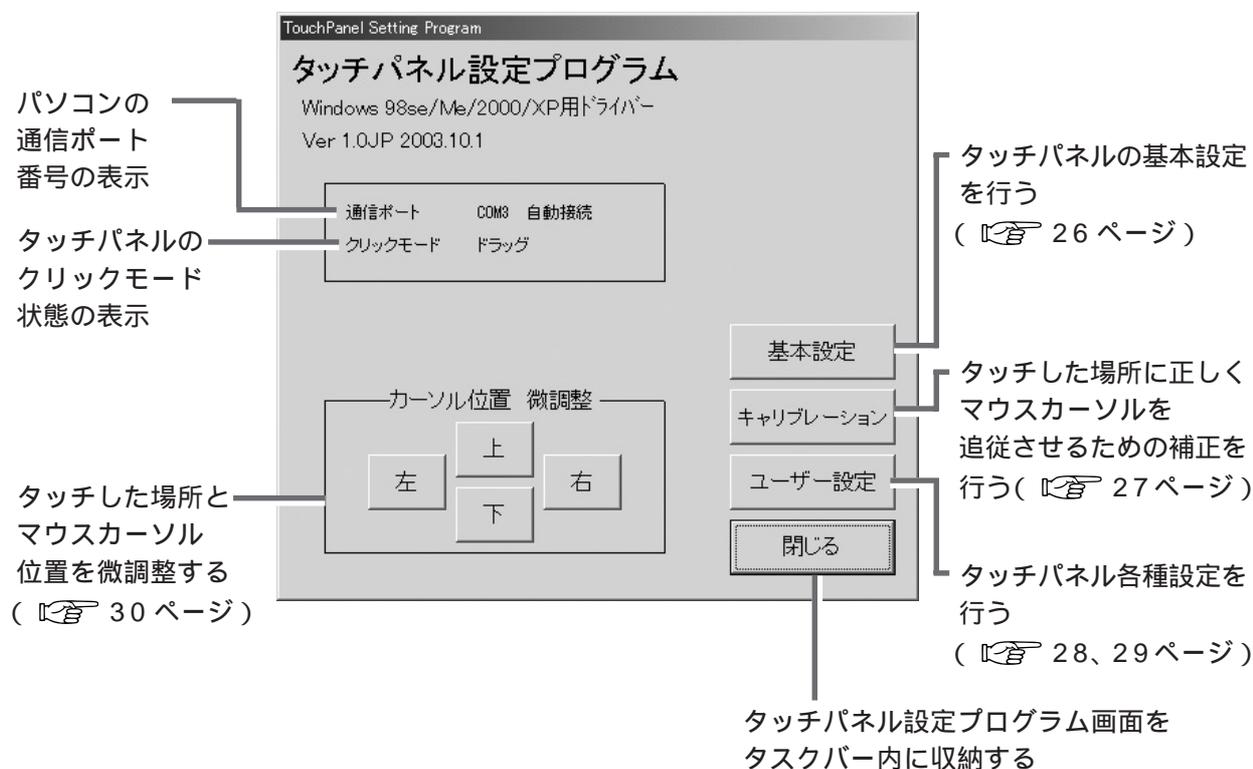


6

[OK]ボタンをクリックする。パソコンを再起動するとドライバーソフトが起動します。

タッチパネル設定プログラム

このプログラムは、通信ポートの設定、各種動作モードの設定やキャリブレーションなどを行いません。変更した内容は初期設定として“C: ¥ Program Files ¥ tpdrv”フォルダ内の“tpdrv.ini”設定ファイルに保存され、以降は変更した内容が有効になります。

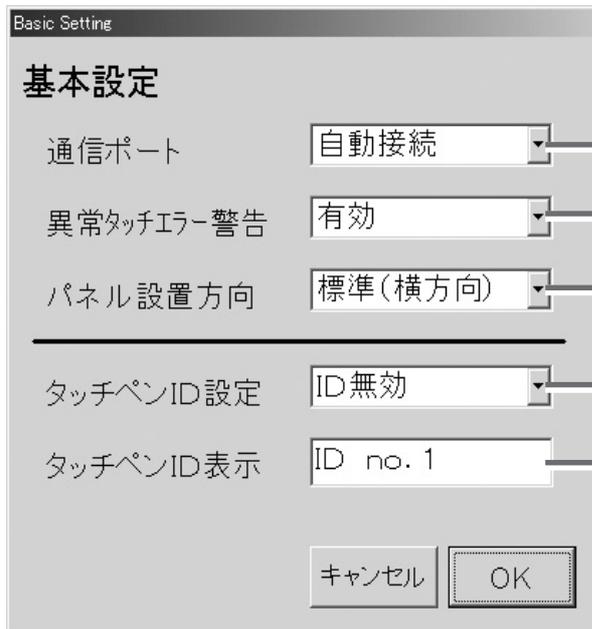


各ボタンを押すとそれぞれの設定ウィンドウがポップアップし、設定値が変更できます。各項目の変更は、ウィンドウを閉じると同時に現在稼働中のドライバーソフトに反映されます。最後に [閉じる] ボタンをクリックすると、すべての設定値を“tpdrv.ini”に記録し、ウィンドウを閉じます。

使
い
か
た

タッチパネル設定プログラム

基本設定



通信ポート

タッチパネルを接続したパソコンのCOMポートを設定します。

自動接続 : ドライバースoftwareが自動検出して設定します。

COM1、COM2... : 自動接続できないときは接続しているポートを選びます。(ご使用のパソコン環境によって、COMポート番号は異なります)

異常タッチエラー警告

有効 : 内部エラーが発生した場合、警告が表示されます。

無効 : 警告が表示されません。

パネル設置方向

パネルの設置方向に合わせて設定します。

標準(横方向) : タッチパネルを横置きで使うとき

縦方向 : タッチパネルを縦置きで使うとき

縦置き仕様のプラズマディスプレイに対応したパソコンのアプリケーションソフトを使う場合。

タッチペンID設定

タッチペン(オプション)のIDをタッチパネルドライバー側で合わせます。

ID無効 : タッチペン側のIDを問わず、信号を受け付けます。

ID no.1 ~ 4 : 同じIDに設定されているタッチペンの信号だけを受け付けます。

タッチペンID表示

現在使用しているタッチペンのIDを表示します。

キャリブレーション

タッチした場所に正しくマウスカーソルを追従させるための補正を行います。

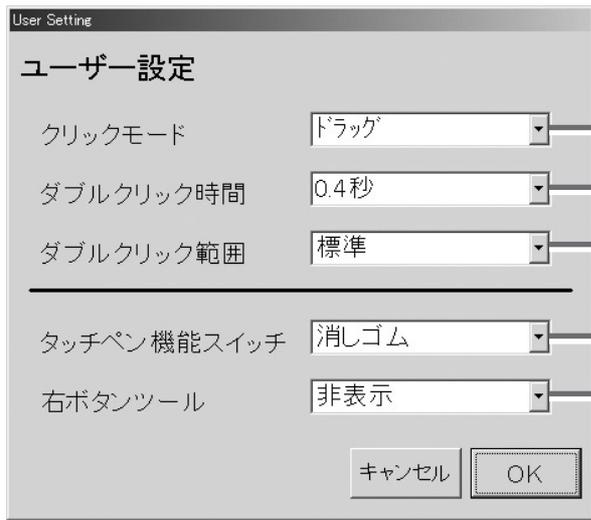
画面に表示されるターゲットの中心を順番にタッチしてください。

ターゲット表示は、左上 左下 右上の順番になります。途中で中止したい場合は、キーボードのいずれかのキーを押してください。



一度、キャリブレーションを行なうと、その補正値は設定ファイルに保存されます。次回からの起動は、設定ファイルより補正値を読み取り起動しますので、改めてキャリブレーションを行なう必要はありません。

ユーザー設定



クリックモード (次ページ)

ダブルクリック時間

ダブルクリックと認識させる時間を設定します。1回目のタッチから2回目のタッチまでの時間を設定し、設定した時間内に2回目のタッチがあった場合にダブルクリックと認識させます。0.2秒間から1.0秒間まで0.2秒間隔で5段階に設定できます。この設定を変更するときはWindows側マウス設定のダブルクリックの速度を"遅く"にしてください。

ダブルクリック範囲

ダブルクリックの有効範囲を設定します。1回目のタッチと2回目のタッチ位置が若干ずれた場合でもダブルクリックとして認識できます。
狭い：標準より狭くなります
広い：標準より広がります

タッチペン機能スイッチ

タッチペン(オプション)の機能スイッチを設定します。

消しゴム : タッチペンツールソフトを使用した場合、消しゴムとして機能します

マウス右ボタン : タッチペン(オプション)の機能スイッチを押しながらディスプレイに触れることにより、マウスの右ボタンをクリックした動作になります

無効 : タッチペン(オプション)の機能スイッチは働きません

右ボタンツール

タッチパネルでマウスの右ボタンの操作を行いたい場合に、このツール(マウスの絵)を使います。
表示 : ディスプレイ画面の左上にツール(マウスの絵)が表示されます。



(左ボタン動作)

タッチすると 



(右ボタン動作)

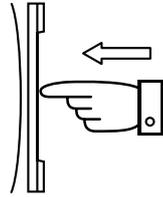
表示が変わり1回だけマウスの右ボタン押し下げとして動作します。以降は左ボタン動作に戻ります。

非表示 : ツールは表示されません。

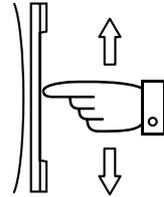
クリックモード

ドラッグ

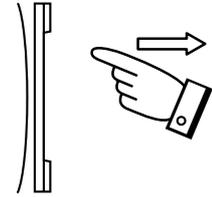
パネルへのタッチ動作をマウスの左ボタンの押し下げに、パネルから指を離す動作を左ボタンの開放に対応させます。
従ってパネルから指を離れたときにクリック操作になります。また、指を移動するときはマウスカーソルが追従しドラッグ操作となります。



ボタンダウン



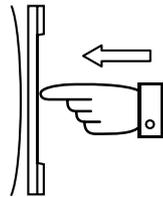
ドラッグ



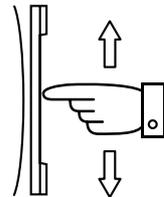
ボタンアップ

クリック オン タッチ

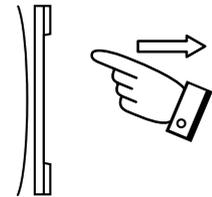
パネルへのタッチ動作を、マウスの左ボタンのシングルクリック（ボタンのON、OFF）に対応させます。
パネルにタッチしたときにクリック操作になります。



ボタンダウン
ボタンアップ



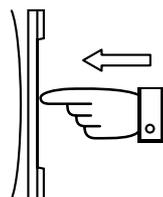
変化なし



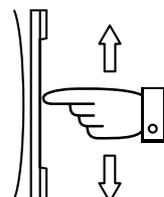
変化なし

クリック オン リリース1

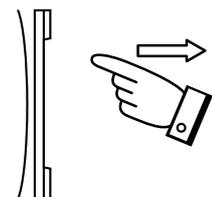
パネルから指を離れたときにクリック操作になります。パネルにタッチしている間はボタンダウン操作にはなりません。また、指を移動するときはカーソルの追従はしません。



変化なし



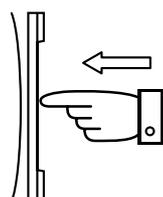
変化なし



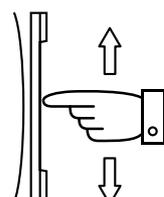
ボタンダウン
ボタンアップ

クリック オン リリース2

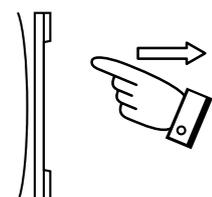
パネルから指を離れたときにクリック操作になります。
パネルにタッチしたときはボタンダウン操作になります。また、指を移動するときはカーソルの追従はしません。



ボタンダウン



変化なし

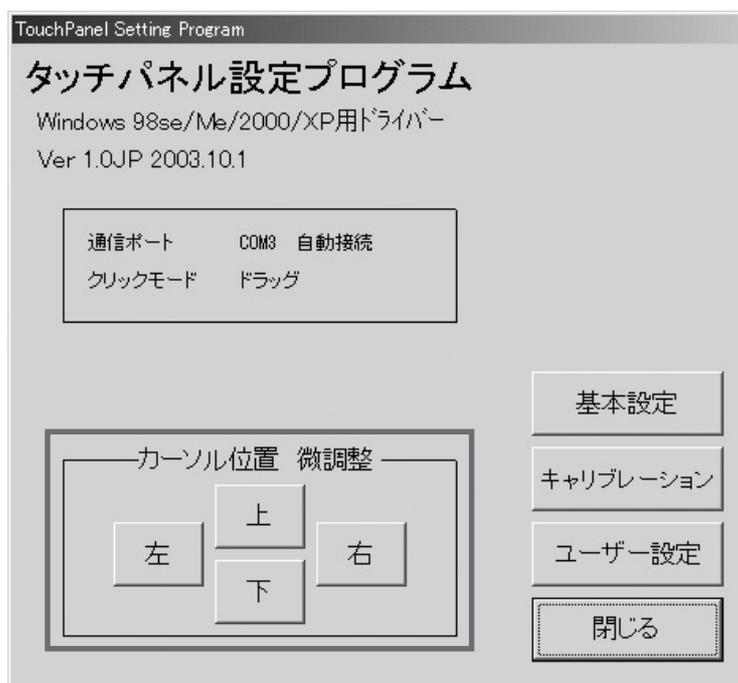


ボタンアップ

タッチパネル設定プログラム

カーソル位置 微調整

キャリブレーションを実行することにより、タッチした場所とマウスのカーソル位置は同一ポイントになりますが、何らかの理由によりカーソルを若干動かしたい場合は、「カーソル位置 微調整」([上] [下] [左] [右]) ボタンを利用してください。



ソフトのアンインストール

タッチパネル設定プログラム

お使いのパソコンにインストールしたプログラムを削除する場合は、次の方法で“tpdrv”を削除してください。

お知らせ

Windows 2000/XPでのプログラムのアンインストールはAdministrator(管理者)グループに所属したユーザー名で行ってください。

1 実行中のドライバープログラムを停止する

アンインストールする際、ドライバーが実行中であるとプログラムが削除できません。あらかじめドライバープログラムを停止する必要があります。次の2つのいずれかの方法でドライバープログラムを停止してから行ってください。

- 方法1**
- ① 「Ctrl」+「Alt」+「Delete」キーを同時に押す。
 - ② 「tpdrv」と「tpmenu」をそれぞれ選び[終了]ボタンをクリックして強制終了後に②を行う。

- 方法2**
- ① [スタート] [プログラム] [スタートアップ] [tpdrv]を選び右クリックして[削除]を選びクリックする。(Windows XPは[プログラム]が[すべてのプログラム]の表示になります。)
 - ② パソコンを再起動してから②を行う。

2 アンインストールを行う



画面は、Windows Meの例です。

Windows 98SE/Me/2000の場合

- ① [スタート] [設定] [コントロールパネル]をクリックする。
- ② [アプリケーションの追加と削除]を開き、「tpdrv」を選ぶ。
- ③ [追加と削除]または[変更/削除]をクリックする。
画面の指示に従って進めてください。
終了後、パソコンを再起動してください。



画面は、Windows XPの例です。

Windows XPの場合

- ① [スタート] [コントロールパネル]をクリックする。
- ② [プログラムの追加と削除]を開き、「tpdrv」を選ぶ。
- ③ [変更と削除]をクリックする。
画面の指示に従って進めてください。
終了後、パソコンを再起動してください。

USB ドライバソフト

付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットしてCD-ROMの中にある「Un-Installer.exe」を実行し、画面の指示に従ってアンインストールを行ってください。

使
い
か
た

必
要
な
と
き

修理を依頼される前に...もう一度次の点をお調べください。

こんなとき	ここをお調べください
<p>応答しない</p>	<p>USB ケーブルが正しく接続されていますか？ 周囲に強い光源もしくは赤外線を利用した機器がありませんか？ タッチパネルは赤外線を利用した光学式機器です。赤外線を多く含む外来光により、正常に動作しない場合があります。光源をタッチパネルからできるだけ離してください。 蛍光灯：赤外線が出ないので問題ありません。 太陽光：直接太陽光があたらない場所に設置ください。 白熱電燈：最も赤外光が含まれ影響されやすく、できるだけ光源をタッチパネルから離してください。</p>
<p>突然、応答しなくなる</p>	<p>周囲に強い光源もしくは赤外線を利用した機器がありませんか？ タッチパネルは赤外線を利用した光学式機器です。赤外線を多く含む外来光により、正常に動作しない場合があります。光源をタッチパネルからできるだけ離してください。 蛍光灯：赤外線が出ないので問題ありません。 太陽光：直接太陽光があたらない場所に設置ください。 白熱電燈：最も赤外光が含まれ影響されやすく、できるだけ光源をタッチパネルから離してください。</p> <p>付近に強いノイズ源（発電機、電動機など）がありませんか？ 外部からの強力なノイズにより、タッチパネルのマイコンが、誤動作することがありますので、ノイズ源をできるだけ離してください。</p>
<p>応答が鈍い</p>	<p>周囲に強い光源もしくは赤外線を利用した機器がありませんか？ タッチパネルは赤外線を利用した光学式機器です。赤外線を多く含む外来光により、正常に動作しない場合があります。光源をタッチパネルからできるだけ離してください。 蛍光灯：赤外線が出ないので問題ありません。 太陽光：直接太陽光があたらない場所に設置ください。 白熱電燈：最も赤外光が含まれ影響されやすく、できるだけ光源をタッチパネルから離してください。</p> <p>指より細いものでタッチ入力していませんか？ 横 6 mm × 縦 6 mm より細いもので入力すると赤外線ビームの中間座標が検出されない場合があります。 さらに、横 2 mm × 縦 2 mm より細いもので入力すると検出動作が遅くなったり、またはまったく検出されない場合があります。</p>
<p>応答しない部分がある</p>	<p>指より細いものでタッチ入力していませんか？ 横 6 mm × 縦 6 mm より細いもので入力すると赤外線ビームの中横座標が検出されない場合があります。 さらに、横 2 mm × 縦 2 mm より細いもので入力すると検出動作が遅くなったり、またはまったく検出されない場合があります。</p> <p>パソコンの OS が立ち上がるまで画面上の赤外線透過部に触れていませんか？ その場合はパソコンを再起動してください。</p>

仕様

品番	TY-TP42P6-S	TY-TP50P6-S	
種類	光学式タッチパネル		
使用電源	電源電圧	DC + 5 V ± 10 %	
	電源電流	DC + 5 V 最大 400 mA以下	
	供給方法	USBバスパワーより供給	
タッチパネル部	検出方式	赤外線遮断検出方式	
	パネル開口部	928.5 mm (幅) × 526.5 mm (高さ)	1 118 mm (幅) × 632 mm (高さ)
	検出領域	916 mm (幅) × 516 mm (高さ)	1 100 mm (幅) × 620 mm (高さ)
	有効検出領域	上記検出領域 + 上下、左右 1.0 mm	
	動作モード	入力点、連続、終了点検出動作 ¹	
	分解能	1 833 (幅) × 1 033 (高さ) ²	2 201 (幅) × 1 241 (高さ) ²
	検出ピッチ	2.0 mm × 2.0 mm	
	出力方式	座標出力	
	光学素子数	230個 (水平) × 130個 (垂直)	276個 (水平) × 156個 (垂直)
	光学素子ピッチ	4.0 mm × 4.0 mm	
	最小スタイラス	6.0 mm × 6.0 mm	
	スキャンスピード	初回タッチ30 ms/フレーム以下、移動時8 ms/フレーム以下	
	インターフェイス	USB1.1準拠	
使用信号 : +DATA、-DATA、VCC、GND			
I/Fコネクタ : TYPE B			
許容温度	稼動時	0 ~ 50 (温度勾配 25 /Hr以下) ³	
	非稼動時	- 10 ~ 60 (温度勾配 25 /Hr以下)	
許容湿度	稼動時	20 % ~ 85 % (結露しないこと) ³	
	非稼動時	10 % ~ 95 % (結露しないこと)	
耐外来光	側面光	2 000 lx + 20 % (入射角度 20°)	
	正面光	10 000 lx + 20 % (入射角度 90°)	
パネル形状	平面パネル (フラットタイプ)		
外形寸法	幅 : 1 066 mm 高さ : 634 mm 奥行 : 69 mm (突起部含む) (取付金具を除く)	幅 : 1 256 mm 高さ : 748 mm 奥行 : 69 mm (突起部含む) (取付金具を除く)	
	質量	3.5 kg (取付金具を除く)	4.2 kg (取付金具を除く)
エスカッション材質	アルミニウム		

1 専用ドライバーソフトを使用した場合。

2 専用ドライバーソフトを使用した場合に得られる分解能です。

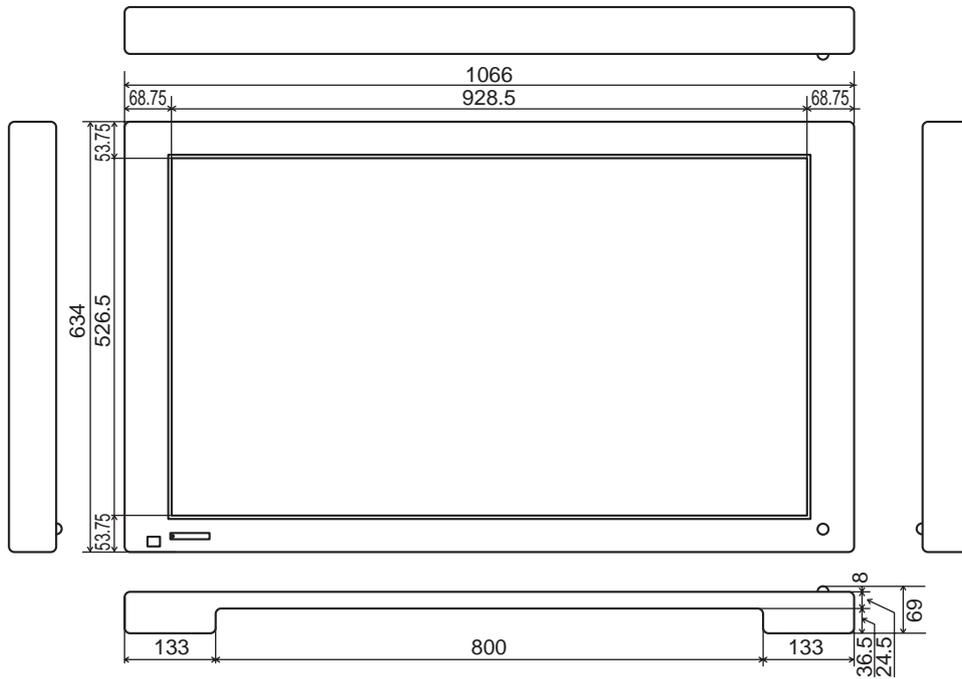
3 タッチパネル単体の場合。(プラズマディスプレイに取り付けた場合、使用する機器の環境条件に従ってください)

必要
な
と
き

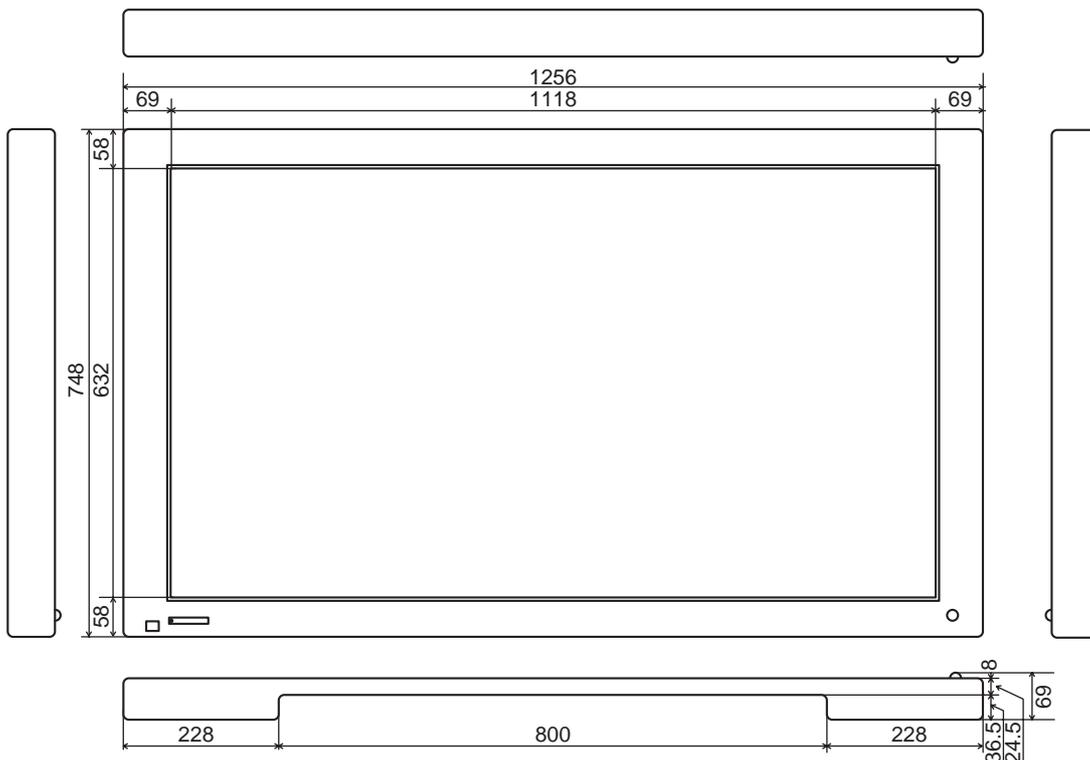
外形寸法図

TY-TP42P6-S

< 単位 : mm >



TY-TP50P6-S



保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は……
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

1. 保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

2. 保証期間

お買い上げ日から本体 1 年間。

3. 修理を依頼されるとき

32 ページ「修理を依頼される前に」の表や、組み合わせをされた機器の「取扱説明書」もよくお読みのうえ調べていただき、直らないときは、まず USB ケーブルを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

保証期間中は

保証書の規定に従って出張修理をさせていただきます。

保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、お買い上げの販売店が修理させていただきます。

なお、修理料金については販売店にご相談ください。

修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

補修用性能部品の保有期間

当社は、この光学式タッチパネルの補修用性能部品を、製造打ち切り後 8 年保有しています。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときご連絡いただきたい内容

ご 氏 名	
ご 住 所	付近の見取図、目印など。
電 話 番 号	呼び出しでもけっこうです。
製 品 名・品 番 お 買 い 上 げ 日	お手もとの保証書をご覧ください。
故障または異常の内容	詳しくお願いします。
訪 問 ご 希 望 日	ご都合の悪い日もあわせて。

必要
な
と
き

便利メモ おぼえのため記入 されると便利です。	お買い上げ日	年 月 日	品番	
	販売店名		お客様ご相談窓口	
		☎ () -	☎ () -	

松下電器産業株式会社 映像・ディスプレイデバイス事業グループ

〒567-0026 大阪府茨木市松下町1番1号 ☎ (072) 622 - 8181

© 2003 Matsushita Electric Industrial Co.,Ltd. (松下電器産業株式会社) All Rights Reserved.

この取扱説明書は再生紙
を使用しています。